

岩手県の農林水産業の概要

特徴・取組

岩手県は本州の北東部に位置し、東西約122km、南北約189kmと南北に長い楕円の形をしており、その面積は、約1.5万km²と国土面積の4%を占め、北海道に次ぐ広さとなっている。

奥羽山脈の山沿い地方は冬に雪の多い日本海側の気候、北上高地は高原性・盆地性の気候、北上川沿いの平野部は全般的に冬は寒さが厳しく夏は暑い内陸性の気候、沿岸部は海洋性の気候となっており、地域の気象条件や特性を生かした多彩な農林水産物の生産が行われている。

岩手県の産業別総生産（令和2年度）は、第1次産業が1,482億円（3.1%）、第2次産業が12,921億円（27.2%）、第3次産業が32,874億円（69.2%）となっている。

また、農業産出額（令和4年）は総額2,660億円で、東北2位、全国11位となっており、うち畜産が1,714億円と64.4%を占めている。

岩手県の農業は、米、畜産に加え、全国一のりんどうや春キャベツなどの園芸産地が形成されており、米や、園芸、畜産を柱とした収益性の高い農業への再編が図られている。

林業は、豊富な針葉樹や広葉樹を活かした木材生産が盛んであり、全国有数の素材生産量を有するほか、木炭や生うるしが全国一の産地となっている。

水産業は、親潮と黒潮がぶつかる世界有数の漁場のほか、複雑に入り込んだリアス式海岸を生かしたアワビや、ワカメ、サケなどの「つくり育てる漁業」が盛んである。

G1登録は全国2位の8件で、「前沢牛」、「岩手野田村荒海ホタテ」、「岩手木炭」、「二子さといも」、「浄法寺漆」、「甲子柿」、「広田湾産イシカゲ貝」、「西わらび」が登録されている。

岩手県では、食料の安定供給や環境に優しい農業生産に関心が高まる中、産地の核となる担い手を中心として、中小・家族経営など多くの農家とともに、化学肥料の使用量の低減や海外資源に依存しない農業を志向するなど、食料自給率の向上に取り組んでいる。

また、林業では、県産木材の供給体制の更なる強化や、森林資源の循環利用の推進のほか、水産業では、海洋環境の変化に対応したサケ等主要魚種の資源回復、マイワシやブリ等増加している資源の有効利用や、サケ・マス類の海面養殖の推進に取り組んでいる。

主な農林水産物

りんどう（切り花類）

昭和33年に野生株を収集して水田で栽培したのが始まり。昭和42年からオリジナル品種の開発を開始。

（出荷量全国1位）



りんご

冷涼で気温の日較差が大きい恵まれた気象条件と、わい化栽培により早期多収で高品質。ふじ、ジョナゴールド、はるかなど品種も多彩。

（収穫量全国3位）



ブロイラー

国内を代表する産地で、岩手独自の地鶏を含む多数の銘柄鶏があり、オリジナルの餌等により肉質等にこだわりを持った生産が行われている。

（出荷羽数全国3位）



木炭（黒炭）

原木となるナラが豊富にあり、県北地域を中心に生産され、全国の4割を占める日本一の産地。

（生産量全国1位）



わかめ類

肉厚で歯ごたえがあり、色が濃く熱に強いことが特徴で、全国でも有数の品質。

（収穫量全国2位）



ホップ

栽培面積は全国の約5割を占める。契約栽培による安定した収益が確保されている。

（生産量全国1位）



雑穀

近年、健康食ブームにより雑穀の様々な成分や機能性が見直され多様な活用が行われているほか、郷土食として今も地元で根付いている。花巻市や県北地方を中心に栽培。



肉用牛

黒毛和種は、県下に多数の銘柄牛を飼養。特に前沢牛の牛肉はG1登録されている。

また、希少な日本短角種は全国の4割を生産。

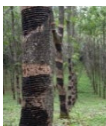
（飼養頭数全国6位）



生うるし

国内生産量の約8割を生産。「浄法寺漆」は、中尊寺金色堂、日光東照宮など世界遺産の保存修理にも用いられている。

（生産量全国1位）



さけ類

「南部鼻曲り鮭」とも呼ばれる秋さけは岩手を代表する魚。

（内水面漁獲量全国4位）



岩手県内の各地域における農林水産物

盛岡地域

【農畜産物】米、小麦、そば、ピーマン、やまのいも、きゅうり、キャベツ、レタス、だいこん、はくさい、ほうれんそう、ブロッコリー、トマト、ズッキーニ、すいか、りんご、なし、ぶどう、やまぶどう、りんどう（切り花類）、アルストロメリア（切り花類）、スターチス（切り花類）、肉用牛、豚、生乳

【林産物】からまつ、広葉樹、生しいたけ、なめこ

【水産物】ます類（内水面）

県北地域

【農畜産物】雑穀、きゅうり、キャベツ、レタス、トマト、ほうれんそう、にんにく、りんどう（切り花類）りんご、おうとう、ホップ、やまぶどう、葉たばこ、肉用牛、豚、ブロイラー、生乳

【林産物】あかまつ、広葉樹、木炭、生しいたけ、乾しいたけ、生うるし

【水産物】するめいか、あわび類、うに類、こんぶ類（養殖）、ほたてがい（養殖）

県南地域

【農畜産物】米、そば、大豆、小麦、ピーマン、きゅうり、アスパラガス、えだまめ、トマト、さといも、りんご、ぶどう、なし、ホップ、小ぎく、りんどう（切り花類）、肉用牛、豚、生乳、ブロイラー

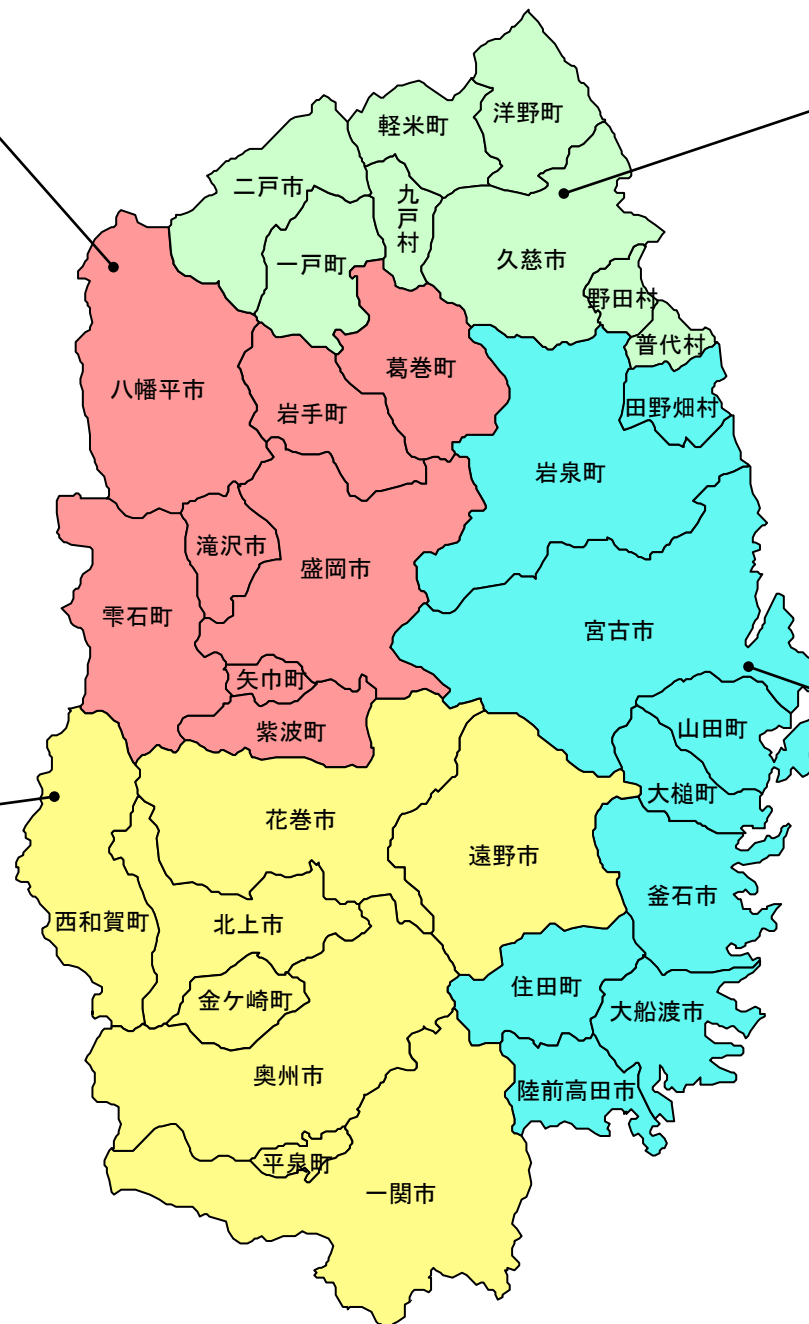
【林産物】すぎ、広葉樹、生しいたけ、水わさび

沿岸地域

【農畜産物】ピーマン、ブロッコリー、いちご、しそ、肉用牛、豚、ブロイラー、生乳

【林産物】広葉樹、生しいたけ、乾しいたけ、畑わさび、まつたけ

【水産物】かつお、さけ・ます類、さば類、さんま、たら類、おきあみ類、するめいか、あわび類、うに類、ほたてがい（養殖）、かき類（養殖）、わかめ類（養殖）、こんぶ類（養殖）



岩 手 県 の 農 業 (1)

- ・耕地面積は14万7,100haで全国5位。うち田が9万2,700ha、畑が5万4,500ha。
- ・農業経営体数は3万5,380経営体で全国7位。うち法人経営体が840経営体で8位。
- ・認定農業者数は5,923経営体で全国14位。うち法人数が772法人で11位。

耕地面積

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
耕地面積	147,100 ha	4,297,000 ha	5
田	92,700 ha	2,335,000 ha	8
畑	54,500 ha	1,962,000 ha	5
普通畑	24,600 ha	1,120,000 ha	13
樹園地	3,280 ha	253,500 ha	23
牧草地	26,600 ha	589,000 ha	2
参考) 総土地面積	1,527,504 ha	37,797,539 ha	2

出典:「令和5年耕地面積(7月15日現在)」、「令和6年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	3,745 ha	253,217 ha	25

出典:「令和4年度の荒廃農地面積(令和5年3月31日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	81,637 ha	2,573,672 ha	5
集積率	54.9 %	59.5 %	14

出典:「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和4年度版)」

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和6年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」: 単位に満たないもの(例: 0.4t→0t)

「-」: 事実のないもの

「…」: 調査を欠くもの

「x」: 秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」: 秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
農業経営体数	35,380 経営体	1,075,705 経営体	7
法人経営体	840 経営体	30,707 経営体	8
総農家数	52,688 戸	1,747,079 戸	7
販売農家	33,861 戸	1,027,892 戸	7
参考) 世帯総数	492,436 世帯	55,830,154 世帯	32
集落営農数	600 集落営農	14,204 集落営農	8

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和5年集落営農実態調査結果(令和5年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	44,458 人	1,363,038 人	9
男	25,255 人	822,144 人	10
女	19,203 人	540,894 人	8
65歳以上	32,784 人	948,621 人	6
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	73.7 %	69.6 %	-
認定農業者数	5,923 経営体	219,846 経営体	14
法人数	772 法人	28,720 法人	11
参考) 総人口数	1,210,534 人	126,146,099 人	32

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和5年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

岩 手 県 の 農 業 (2)

- ・農業産出額は2,660億円で全国11位。うち米が468億円（17.6%）、野菜が241億円（9.1%）、畜産が1,714億円（64.4%）。
- ・農畜産物の生産状況は、りんどう、ホップが全国1位、やまぶどう、葉たばこが2位、ブロイラー、りんごが3位。
- ・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売（売上）金額が2億円で全国8位、経営体数は30経営体で9位。

農業産出額

区 分	岩手県	全国	全国順位
農業産出額	2,660 億円 (100.0)	90,015 億円 (100.0)	11
米	468 億円 (17.6)	13,946 億円 (15.5)	9
麦類	x 億円	647 億円	- *
雑穀	3 億円	83 億円	7
豆類	10 億円	715 億円	12
いも類	3 億円	2,199 億円	42
野菜	241 億円 (9.1)	22,298 億円 (24.8)	31
果実	137 億円 (5.2)	9,232 億円 (10.3)	17
花き	45 億円	3,493 億円	23
工芸農作物	26 億円	1,551 億円	11
その他作物	x 億円	607 億円	- *
畜産	1,714 億円 (64.4)	34,678 億円 (38.5)	4
肉用牛	272 億円	8,257 億円	6
乳用牛	245 億円	9,013 億円	6
生乳	232 億円	7,916 億円	4
豚	370 億円	6,713 億円	6
鶏	818 億円	9,716 億円	3
鶏卵	179 億円	5,638 億円	15
ブロイラー	599 億円 (22.5)	3,940 億円	3 *
その他畜産物	10 億円	979 億円	8
加工農産物	0 億円	565 億円	39

出典：「令和4年生産農業所得統計」

注：()は農業産出額を100%とした割合である。

農畜産物の生産状況

区 分		年次	岩 手 県	全 国	全国順位
ピーマン	収穫量	R4	8,480 t	150,000 t	5
りんご	収穫量	R5	31,600 t	6,038,000 t	3
りんどう	出荷量	R4	42,500 千本	73,100 千本	1
肉用牛	飼養頭数	R5	89,000 頭	2,687,000 頭	6
乳用牛	飼養頭数	R5	40,200 頭	1,356,000 頭	4
ブロイラー	飼養羽数	R5	20,766 千羽	141,463 千羽	3 *
生乳	生産量	R5	198,506 t	7,298,933 t	5
やまぶどう	収穫量	R3	147 t	394 t	2
葉たばこ	販売重量	R4	1,143 t	8,782 t	2 *
ホップ	生産量	R4	79 t	166 t	1

出典：「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「畜産統計」、「牛乳乳製品統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「葉たばこ販売実績」、「ホップに関する資料」

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
農産加工	総額 11,021 百万円 事業体数 890 事業体	1,012,818 百万円 28,980 事業体	29 7
農産物直売所	総額 16,031 百万円 事業体数 430 事業体	1,087,897 百万円 22,380 事業体	31 24
観光農園	総額 885 百万円 経営体数 30 経営体	35,999 百万円 5,090 経営体	15 38
農家民宿	総額 177 百万円 経営体数 30 経営体	4,565 百万円 1,170 経営体	8 * 9 *
農家レストラン	総額 510 百万円 事業体数 40 事業体	35,236 百万円 1,330 事業体	27 * 7 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

岩 手 県 の 林 業

- ・林業産出額は256.7億円で全国5位。うち木材生産が201.1億円、栽培きのこ類生産が49.2億円。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が全国3位、あかまつ・くろまつ、生うるし、黒炭、木酢液が1位。

林業産出額

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
林業産出額	256.7 億円	5,806.6 億円	5
木材生産	201.1 億円	3,604.6 億円	3 *
栽培きのこ類生産	49.2 億円	2,079.5 億円	10

出典：「令和4年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
素材生産量	1,461 千m ³	22,082 千m ³	3 *
針葉樹	1,278 千m ³	20,386 千m ³	3
あかまつ・くろまつ	227 千m ³	559 千m ³	1 *
すぎ	788 千m ³	13,238 千m ³	5
広葉樹	183 千m ³	1,696 千m ³	2 *
生うるし	生産量 1,435 kg	1,766 kg	1
黒炭	生産量 1,645 t	3,952 t	1 *
木酢液	生産量 759,025 l	1,689,057 l	1 *
わさび	生産量 394 t	1,635 t	3

出典：「令和4年木材需給報告書」、「令和4年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
林野面積	1,152,364 ha	24,770,201 ha	2
国有林	364,916 ha	7,153,338 ha	5
民有林	787,448 ha	17,616,863 ha	2
人工林面積	484,203 ha	10,133,111 ha	2

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
工場数	109 工場	3,804 工場	11
製材用素材の入荷があった工場数	109 工場	3,778 工場	11
国産材のみ	95 工場	3,054 工場	10
国産材と輸入材	14 工場	560 工場	17

出典：「令和4年木材需給報告書」

林業経営体数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
林業経営体数	1,728 経営体	34,001 経営体	3
法人経営体	193 経営体	4,093 経営体	3

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

岩 手 県 の 漁 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は390億円で全国10位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のあわび類が全国 1 位、海面養殖業のこんぶ類、わかめ類が 2 位、内水面漁業のさけ類が 4 位。
- ・ 漁業生産関連事業は、水産加工の年間販売（売上）金額が27億円で全国17位、事業体数は30事業体で15位。

漁業産出額

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	390 億円	14,372 億円	10

出典：「令和4年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	3,406 経営体	79,067 経営体	5
内水面漁業経営体数	38 経営体	4,772 経営体	31

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

漁業就業者数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	6,327 人	151,701 人	4
男	5,432 人	134,186 人	5
女	895 人	17,515 人	6

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

漁船隻数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
漁船隻数	5,791 隻	132,201 隻	5
動力漁船	1,146 隻	69,920 隻	26

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

水産物の生産状況

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	107,261 t	3,862,831 t	9 *
海面漁業漁獲量	74,815 t	2,950,992 t	9
あわび類	133 t	689 t	1
うに類	999 t	6,518 t	2 *
海面養殖業収穫量	32,446 t	911,839 t	11 *
こんぶ類	7,667 t	29,780 t	2 *
わかめ類	14,253 t	46,929 t	2 *
内水面漁業・養殖業生産量	351 t	54,115 t	23 *
内水面漁業漁獲量	117 t	22,612 t	16
さけ類	117 t	9,694 t	4
内水面養殖業収穫量	234 t	31,503 t	18 *
にじます	182 t	4,462 t	7 *

出典：「令和4年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
水産加工	総額 2,654 百万円	181,820 百万円	17 *
	事業体数 30 事業体	1,460 事業体	15 *
水産物直売所	総額 114 百万円	37,410 百万円	31 *
	事業体数 10 事業体	840 事業体	19 *
漁家民宿	総額 61 百万円	5,986 百万円	20 *
	経営体数 10 経営体	740 経営体	15 *
漁家レストラン	総額 85 百万円	11,598 百万円	25 *
	事業体数 10 事業体	420 事業体	9 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

岩手県の農林水産業の話題等

久慈地区汚泥再生処理センター

～ 汚泥を肥料に！地域資源を住民へ還元するシステムづくり～

久慈地域（久慈市、洋野町、野田村、普代村）では共同でし尿処理施設を運営していたが、施設の老朽化を機に新設し、産廃としていた汚泥を循環型資源に再生する処理センターとして令和4年3月から稼働させた。1日に処理できる能力は約105kℓ（し尿65kℓ、浄化槽汚泥40kℓ）。工程は、先にトイレットペーパーや砂などの不純物を取り除き、薬剤を極力使わない新鋭処理施設において有用な微生物によりアンモニアや有機物を分解し、その分離液を膜分離装置で処理水と汚泥に分け、汚泥は脱水処理後、肥料化設備にて十分発酵させ汚泥肥料となる。し尿等の搬入から肥料化までに要する期間は26日間で、令和4年度は10ヶ月の稼働で約179tの肥料が製造された。これらの肥料は、地域に還元することとして、扱いやすさからペレット形状に加工され、一世帯当たり年間で10袋/15kgを上限に希望する地域住民に無償で配布され、野菜や花など家庭菜園に利用されている。



新設された久慈地区汚泥再生処理センター



地域に無償配付される15kg詰め袋肥料

紫波フルーツパーク自園自醸ワイナリー ～生産者の夢が叶った自園自醸によるワインづくり～

紫波町は、冷涼な気候とミネラル分豊富な土壤に恵まれた岩手県最大のぶどうの産地で、古くから生食用のほかにワイン用ぶどうを生産し、県内外のワイナリーに販売していた。そうした中で、ぶどう生産者の方々が「自分たちの育てたぶどうでワインを造りたい」という思いを抱き始め、2003年に設立された第三セクターの株式会社紫波フルーツパーク内に「自園自醸ワイナリー紫波ぶどう栽培研究会」を立ち上げた。当初6戸であった町内の契約農家は20周年を迎えた現在、24戸までに増え、自社農園を含めワイン用ぶどう14品種を栽培し、年間約12～13万本のワインを製造販売している。ワイナリーでは「良いワインは良いぶどうから」という基本を守り、創業当初から町内産のワイン専用品種ぶどうを使ったワイン造りにこだわり続けている。このことがぶどう栽培農家の「自分たちのワイナリー」という意識と、より高品質なぶどうを育てようという意欲に繋がっている。



（写真提供：株式会社紫波フルーツパーク）